



マックスまっくすMAXだぁー

第2回 NIB ピックを堂々制覇、王者の風格

オリンピックイヤーにあたる2016年4月10日(日)、第2回 NIB ピックを桜舞う板橋区立平和公園で行い、決勝戦でブルガリア代表マックス吉岡が、スウェーデン代表平井おやぢを3-1で破り、みごと金メダルを手にした。2位の銀メダルは平井おやぢ、銅メダルは、三位決定戦でケニア代表松ちゃんに勝ったデンマーク代表岩坊だった。



平井おやぢ、マックス吉岡、岩坊 おめでとう！

4種競技は中Gがトップ、ハルクが2位

午前中は4種競技を行った。第1回は趣向に懲りすぎ、思いのほか点数が伸びなかったため、今回は「遠投」「特製ミニ床入れ」「1分床入れ」「ストラックアウト」と、比較的可たん内容に改められた。その中で、トップに立ったのはオーストラリア代表中Gだ。『この人はこれしか取り柄がないから』と揶揄されながらも、特製ミニ床入れで圧巻の8得点を獲得。1分床入れもトップタイの7得点など、合計21得点でトップに立った。2位には1点差でポルトガル代表ハルク、3位はトルコ代表ちかはると平井おやぢの18得点だった。なお、4種競技のアベレージは10.3、これが持点となり、決勝トーナメント出場に大きく影響を及ぼした。



平井おやぢ、上手の手から水が漏れる

4種競技は8得点と振るわなかったマックスだが、ギリギリで決勝トーナメントに滑り込むと、ここからは破竹の勢いで勝ち上がる。チリ代表えいた、韓国代表シュガー、ケニア代表松ちゃんをストレート勝ちで破り、難なく決勝戦進出を決める。一方、4種競技で3位の好成績だった平井おやぢは、ウルグアイ代表ゆりちゃんを下すも、ギリシャ代表ルパン、デンマーク代表岩坊に手こずり、何とか決勝戦にこぎつける。



この差がそっくりそのまま決勝戦に出た。2月にグラチャン、3月にはベー王戦を制しているブルガリアマックスは、余裕の表情だ。早々と決勝戦進出を決め、平井対岩坊の戦いをじっくり観察する。こうなるともうマックスに死角はない。まさに独壇場だ。1本、2本、立て続けに平井ベーを弾き出し、平井に考える隙を与えない。『あ、(対戦相手が)マックスだ。イヤだなぁと言われるようになりたいなあ』そんな軽口も飛び出す始末だ。



この後、平井が1本返し、まだまだ勝負はわからないぞとなったその時、『コン!!』と乾いた音を残し、平井ベーが跳んでいるではないか。おやおや、そう、床はずしだ。何というあっけない幕切れだ。こうして、4年に1回の大会も終わる。まあでも、大きな大会というのは、得てしてこういうものだし、そしてこれがベーゴマの怖さだ。

まさに絶好調のマックスには、3連勝おめでとうと言いたいのが、ほかに人がいないわけでもないのに、この状況はどうだろう。みんなで何とかしようぜ。みなさんの奮起に期待します。

ガチホンコはルパン

ゆうひ、ゆうた、ほん魂六角、シュガーを倒したルパンが、奥田パパ、平井おやぢ、松ちゃん、ハルクを退けた小出っちとの頂上決戦に勝ち、何よりうれしい全部取りだ。これだからやめられないねえ。今日の酒はうまいぞー。



新企画「ベーゴマかるた」 — 投稿のお願い —

ベーゴマに関するあんなこと、こんなこと、・・・そんなベーゴマあるあるを、かるたにして送ってください。採用された方にはベーゴマをプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております。ヨロピク〜！

